



キャッチパレットトラック

取扱説明書

CPシリーズ

NO.4

700kg



3000kg

この度は、キャッチパレットトラックをご購入頂きありがとうございます。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくための正しい操作方法と、より長くご使用いただくための手入れの方法を説明してあります。ご使用前によく読み、よく理解したうえで、正しくご使用ください。取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

取扱説明書や警告ラベルを紛失された場合は、購入店にてお求め下さい。



警告ラベル

能力表示ラベル

MAX.0000kg

製品銘板
(機体番号)



株式会社

をくだ屋技研

安全上のご注意



注意

機械・貨物が転倒し、ケガをする恐れがあります。

●傾斜面での使用禁止

傾斜面にそって貨物の積みおろし、運搬、旋回をすると転倒のおそれがありますのでやめてください。
傾斜や凹凸、段差のない平坦なしっかりした床面で使用してください。

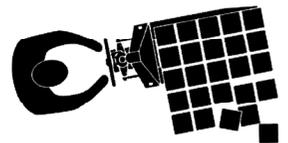
●傾斜面にそって運搬しない



●先端荷重、偏荷重(片荷)は禁止

フォークの先端部分や片側に荷重を集中してはいけません。
機械を損傷するだけでなく貨物の荷崩れによる事故の恐れがあります。

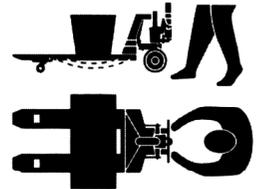
●偏荷重にしない



●集中荷重は禁止

最大荷重は『フォーク部分全体に均等にかかる』ことを前提に表記しています。偏荷重や先端荷重にすると、実際の積載貨物の重量以上の負荷がかかります。路面の凹凸や衝撃によっても同じ状況になります。

●集中荷重を掛けない



●フォークの上に乗ってはいけません。

●ブレーキは装備していません。

駐車時にわずかな傾斜でも転がります。
駐車時の機械の方向や車止めに配慮してください。

●フォークの上に乗らない



●フォークの下に手足をいれてはいけません。

フォークの昇降時は作業周辺の安全を確保してください。フォークだけでなく積載貨物やパレットの下に手足をいれてはいけません。

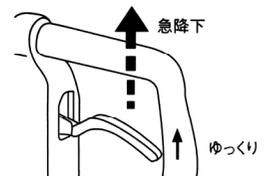
●フォークの下は危険



●フォークは『ゆっくり』降ろします。

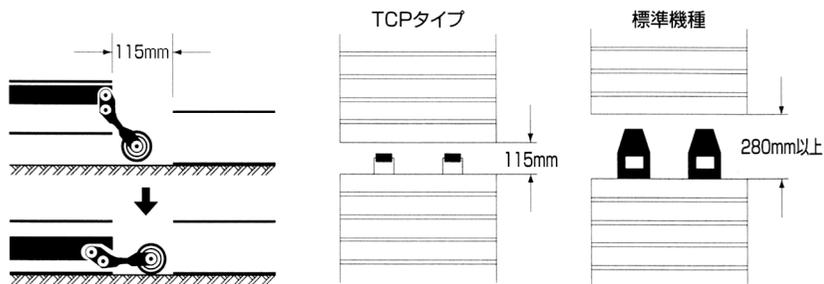
レバーは降下スピードを確認しながら『ゆっくり』操作してください。いききにレバーを握ると急降下し、貨物、床面、機械に回復不可能な損傷を与えますから慎重に操作してください。

●フォークの降下は「ゆっくり」



TCPタイプご使用の場合

- 積みつけスペースを節約できます



CPWタイプ(横移動兼用)ご使用の場合



注意

ヨコ移動の運搬作業中は操作レバーを必ずN(中立)にセットしてください。レバー操作をして、フォークを降下させてはいけません。機械および車輪を損傷します。

- 常時使用の運搬機能(※差し込み可能なパレットは単面形のみです)

フォーク高さを150mm以下の状態で運搬して下さい。

前進、後進を中心とした通常どりのご利用ができます。

運搬作業の際は、**操作レバーはN(中立)**にして使用するとハンドルがフリーになり、運搬操作が大変楽になります。

- ヨコ移動機能の運搬

フォーク高さを170mm以上にリフトさせて運搬して下さい。

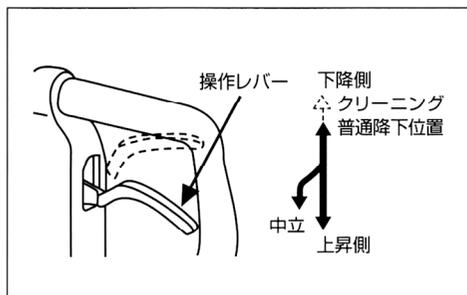
フォークの方向に対し、**左右90度のヨコ方向にハンドルを旋回ストッパーで必ず固定**して運搬します。

運搬作業の際は、**操作レバーは必ず、N(中立)**にして使用します。

ヨコ移動状態で運搬中は、操作レバーに触れてはいけません。

バルブクリーニングの方法

フォークがじわじわ降るとき、又は昇らないときは操作レバーを一ぱい引いてそのままポンプを数回漕いで下さい。又はフォークを一番上まで昇げた後操作レバーを一ぱい引いてフォークを急降下させて下さい。これでリリースバルブがクリーニング出来ます。



パレットトラックの操作方法

① フォークの差込み

操作レバーを下降(DOWN)の位置まで引き上げフォークを最低位まで下げてからパレット、スキッド又は荷物の桁下へ差し込んでください。

② フォークの上昇

操作レバーを上昇(UP)の位置まで下げてジャッキハンドルを上・下に操作するとフォークは上昇します。

※最大荷重(重量)以上に積み過ぎると圧力調整バルブが作動してフォークは上昇しません。

③ 運搬

操作レバーを中立(N)の位置にセットしジャッキハンドルを無負荷状態にして、ハンドルでステアリングホイールの向きを自由に変えて引くか、又は押しして運搬してください。容易に操作できます。

④ フォークの下降

所定の位置へ運搬したのち、操作レバーをゆっくり下降(DOWN)の位置へ引き上げてください。フォークはゆるやかに降下します。荷物が床に着いてもフォークは更に最低位まで降下します。但し途中でレバー操作をやめると降下は止ります。

■パレットトラックの使用及び保管場所

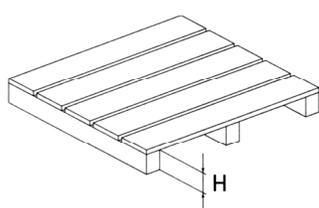
屋内でご使用ください。高温(50℃以上)または低温(0℃以下)環境や雨に濡れたり、水がかかるような場所、塩分や酸などのため金属が腐食しやすい環境での使用および保管は対応できません。

樹脂ハンドル部分は、強い衝撃や高温、薬品にご注意ください。

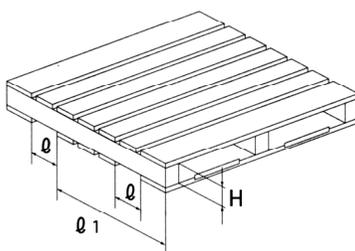
パレットトラックに使用できるパレット

■パレットの製作について

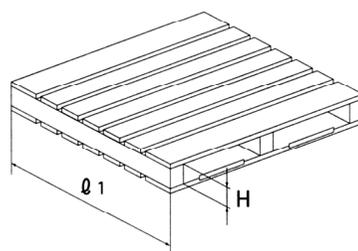
パレットトラックにあうパレットを作るには、下記の寸法を良く理解してください。QとQ1および仕様書のL3の寸法を間違うとフォークが上昇する際にパレットを破損する恐れがありますから、特にご注意ください。



●単面形



●片面使用形



●両面使用形

●すきま Q : CP-7 150mm以上

● Q : CP-10~25 170mm以上

● Q : CP-30 200mm以上

●寸法 Q1 : 各機種仕様寸法L3以下

※フォークの差込み口高さ(H)はフォーク最低寸法(H1)+10mm以上にしてください。

始業点検・定期点検

作業の安全と機械の性能を維持するため、始業時および定期（月次/年次）に下記の点検を実施してください。

〈無負荷で正常に作動するか確認した後、負荷テストをしてください。〉

点検内容

- フレーム各部に金属疲労、ひずみ、異音はないか
- 各部のボルト、ナットにゆるみはないか
- 回転部分、メタル、ブッシュに異常摩耗はないか
- 回転部分のグリスアップはされているか
- 車輪に異常摩耗や傷はないか
- 油圧装置（シリンダー、オイルタンク）の油漏れはないか

給油

① ポンプのオイル交換は年1回

ポンプのオイルは漏れない限り半年から1年位は補給不要です。

オイルの取替、補給の際は次のオイル又は同等品を使用してください。（オイル量は**0.370**です。）

② グリスはリチウムグリスをご使用ください。

出光石油	ダフニスーパードWR22
日本石油	ハイランドワイド22
シェル石油	テラスオイルT22
コスモ石油	コスモハイドロHV22

※ブレーキオイル使用厳禁

故障と対策

故障の状況	原因	対策
上昇しない	油圧作動油不足	オイルの補充
	ポンプ調整不良	再調整
	シリンダーリングの摩耗	リング交換
下降しない	ポンプの調整不良	再調整
	昇降ロッドのチェーン切れなど	チェーン交換及び調整
	フレーム、ロッドなどの破損	交換
自然降下する	ポンプ調整、ノズルの作動不良	再調整
	シリンダーリングの摩耗	リング交換
中立がない	昇降カムのナットの緩み	再調整
降下スピードの調整が出来ない	バルブハウジングの摩耗	交換



本 社 〒587 - 0011 大阪府堺市美原区丹上263
TEL (072)362-2111(代) FAX (072)362-2115

本社営業部 〒587 - 0011 大阪府堺市美原区丹上263
TEL (072)361-7888 FAX (072)362-7022

東京支店 〒154 - 0004 東京都世田谷区太子堂1-12-32
TEL (03)3424-5851(代) FAX (03)3424-5853

仙台営業所 〒983 - 0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6-7
TEL (022)296-1207 FAX (022)296-1208

高崎営業所 〒370-1203 群馬県高崎市矢中町316-2-102
TEL (027)353-3625 FAX (027)353-3626

名古屋営業所 〒463-0017 名古屋市守山区喜多山1-6-22
TEL (052)794-8812 FAX (052)794-8814

福岡営業所 〒812- 0894 福岡市博多区諸岡1-19-27
TEL (092)581-8400 FAX (092)581-8333

無断転載禁止